

眼科

眼科では、現在、外来診療を月曜日から金曜日まで毎日行っています。

小児からお年寄りまで、角膜潰瘍やアレルギー性結膜炎など前眼部疾患から網膜裂孔や糖尿病網膜症など後眼部疾患まで、眼に関する様々な疾患に対応しています。白内障、緑内障、糖尿病網膜症で通院される患者さんが多いですが、総合病院ということもあり、他科からの紹介も多くあります。例えば、小児の斜視弱視、外傷後の複視、頭蓋内疾患後の視野検査、真菌性眼内炎の有無、薬剤の眼に対する副作用のチェックなど、他科との連携を図って診療を行っています。また、島根大学をはじめとする近隣の病院、開業医の先生方ともお互いに協力、助けていただきながら診療にあたっています。

当科の特徴の一つとして、未熟児網膜症の診療があります。当院は総合周産期母子医療センターを擁しているため、この地域では比較的多くの症例を経験することができます。

毎週金曜日にはカンファレンスを行い、主に小児の斜視弱視に関して話し合い、治療方針を決定しています。

